

【記載例1】
 決算期の年間売上の比較で売上減少が20%以上の場合、添付書類は、チェックシートAを確認ください

〒 014-0392
 住所 仙北市生保内字宮ノ後30
 仙北市角館町中菅沢81-8
 株式会社センボクショップ
 代表取締役 仙北 太郎 **印**
 0187-43-●●●●

仙北市経営維持支援金支給申請書 兼 実績報告書

押印が必要です

仙北市経営維持支援金の支給を申請します。また、審査の結果、適当と認められし
 たら、支援金を下記の指定口座に振り込んでください。

1 支援金の申請額 100,000円

2 同意・誓約事項への同意について

裏面の「同意・誓約事項」を確認し

裏面の「同意・誓約事項」を確認の上、必ずチェックしてください。チェックが無い場合、支援金は不支給になります

3 実績報告(売上減少の確認)

小数点第1位まで記載してください。(小数点第2位以下は切捨)

(1) 直近の決算期の年間売上が、前年度もしくは前々年度と比較して20%以上減少していること

直近の決算年度の売上(A)	前年度もしくは前々年度の年間売上(B)	減少額(C) (B-A)	減少率 (C/B×100)
2,700,000 円	3,600,000 円	900,000 円	25.0 %

(2) 令和3年度から8月と比較して20%以上

前年度又は前々年度の決算年度の確定申告書又は市町村民税・県民税申告書などから転記してください。

令和3年度	(B-A)	(C/B×100)
	円	%

直近の決算年度の確定申告書又は市町村民税・県民税申告書などから転記してください。

3 振込先口座

金融機関名		支店名	
秋田	銀行 信用組合 農協 信用金庫	角館	本店 支所
口座種別	口座番号	右詰めで記入	
普通・当座	1 2 ■ 4 ▲ 6		
口座名義人(カタカナで記載してください)			
カブシキガイシャ センボクショップ			

●裏面に「同意・誓約事項」があります。

●直近の決算年度の売上(A)の転記について【2020年中の収入として】

「令和02年分」の申告書

「令和3年度」の市町村民税・県民税(国民健康保険税)申告書

●前年度もしくは前々年度の年間売上(B)の転記について【2019年中または2018年中の収入として】

「令和01年分」または「平成30年分」の申告書

「令和2年度」または「平成31年度」の市町村民税・県民税(国民健康保険税)申告書

【記載例2】

対象月の帳簿等の比較で売上減少が20%以上の場合。添付書類は、チェックシートBをご確認ください。

※農業事業者は除きます

〒 014-0392
 住所 仙北市角館町中菅沢81-8
 仙北市生保内字宮ノ後30
 株式会社●●商事
 代表取締役 仙北 花子 **印**
 0187-43-●●●●

仙北市経営維持支援金支給申請書 兼 実績報告書 兼 請求書

押印が必要です

仙北市経営維持支援金の支給を申請します。また、審査の結果、認められず、支援金を下記に指定口座に振り込んでください。

1 支援金の申請額 100,000円

2 同意・誓約事項への同意

裏面の「同意・誓約事項」を確認し、全ての要件を満たします。

裏面の「同意・誓約事項」を確認の上、必ずチェックしてください。チェックが無い場合、支援金は不支給になります

3 実績報告(売上減少の確認)

令和3年3月から8月までのいずれかの月において、前年または前々年の同月と比較して売上が20%以上減少している「対象月を記載」し、その「対象月の売上を転記」してください。

売上(A)	前年または前々年の年間売上(B)	(B-A)	(C/B×100)
100,000 円	500,000 円	400,000 円	80.0 %

左の欄に記載した対象月の前年または前々年について「対象月を記載」し、その「対象月の売上を転記」してください。

(2) 令和3年3月から8月までのいずれかの月において、前年または前々年の同月と比較して20%以上減少している

令和3年8月の売上(A)	前年又は前々年の売上(令和元年8月)(B)	減少額(C)(B-A)	減少率(C/B×100)
100,000 円	500,000 円	400,000 円	80.0 %

4 振込先

参考
【前年の対象月】
 令和2年3月から8月
【前々年の対象月】
 平成31年3月から令和元年8月

小数点第1位まで記載してください。(小数点第2位以下は切捨)

金融機関名 北 田沢湖 本店 支店

口座種別 普通・当座 口座番号 6 ■ 4 3 ▲ 1 右詰めで記入

口座名義人(カタカナで記載してください) カブシキガイシャ ●●ショウジ

●裏面に「同意・誓約事項」があります。

●令和3年〇月の売上(A)の転記について

年月日	品名	数量	単価	売上金額	受入金額	差引残高
3 8 1	○○○			5,000		
3 8 31	△△△			30,000		
令和3年8月の計				100,000		

帳簿などの場合

帳簿や帳面から令和3年3月～8月のうち売上げが減少した対象月の売上を転記してください

※月の売上が分かる帳簿や帳面は、事業者が各自で作成しているものです。税務署や税務課で発行するものではありません。

●前年または前々年の売上(〇〇年〇月)(B)の転記について

年月日	品名	数量	単価	売上金額	受入金額	差引残高
1 8 1	◇◇◇◇			150,000		
1 8 31	▲▲▲▲			50,000		
令和元年8月の計				500,000		

帳簿などの場合

帳簿や帳面から、(A)の対象月の前年または前々年の売上を転記※してください。

又は

令和 〇 年分

提出用 (令和1年分以降適用)

月	売上(収入)金額	仕入金額
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	500,000	
9		
10		
11		
12		

青色申告の場合

青色申告決算書P2中の「月別売上(収入)金額及び仕入金額」の表から、対象月の前年または前々年の「売上(収入)金額」を転記※してください。

※国の持続化給付金や、令和2年の仙北市事業継続支援金などが含まれることで減少率が20%以上とならない場合、これらを対象月の売上から除いた額で転記しても差し支えありません。